

合格体験記

ライブ講座受講 (O男性)

はじめに

5回の2次試験受験にておかげさまで合格できました。長らく受験をしましたので、どうすれば効率よく攻略ができるかがわかってきましたので、私なりの視点をお知らせしたいと思います。

なお、私はこの試験には向いていないと思い、何度もあきらめかけましたが、進歩が確認できる限り、続けていればいつかは花開くと信じて勉強を継続してきたことが勝因であったといえます。私と同じような立場にあったと聞いているMMCの講師の方々から励ましをいただいたことも大きかったです。

2次試験受験歴

2018年：1回目2次試験不合格（大手予備校の講座を受講）

2019年：2回目2次試験不合格（MMCライブ講座受講）

2020年：3回目2次試験不合格（MMCライブ講座再受講）

2021年：4回目2次試験不合格（MMC教材、書籍及び他社DVD教材で独学）

2022年：5回目2次試験合格（MMC教材、書籍及び他社DVD教材で独学）

MMCを選んだ理由（良かった点を含みます）

2次試験に合格された方とたまたま飲み会で話した際に、受験校の選択肢として、MMCのことを聞いたことがきっかけです。事例ごとにキーワードを覚え、解答の金型（文章のまとめかた）に当てはめて答案を作成する方法がよかったと話していました。

私は、MMCのライブ講座に参加したのですが、毎週、決まった時間に一定の時間、学習や練習を繰り返し行いますので、いやでも慣れてきて、解答のスキルやスピードが上がっていくことを実感できたことがよかったと思っています。また、講師が会場に何人もいましたので、演習のフィードバックを素早く受けやすく、個別相談にも乗ってもらえるメリットがありました。

学習方法

徹底したことは、MMCから教えられた通り、事例ⅠからⅢまでは60点を目指し、事例Ⅳは80点を目指すことでした。合格時の点数開示にて、事例Ⅳで87点取れましたので、ほかの事例での落ち込みをカバーすることができました。

事例のⅣは計算が主流ですが、毎年、どの種類の問題が出されるかわかりませんので、とにかく幅広に対応しました。当時、ゴールデンウィーク期間に開催された「財務アカウントゼミ」および「財務ファイナンスゼミ」の両方に出席しました。その際に配布された31問ずつ入った問題集と解答集2セットをすべて解き、間違った問題については繰り返し練習し、すべて短時間で対応できるように準備をしました。これらの問題集に

は頻出の問題がほぼ網羅されているため、信頼感がありました。

事例ⅠからⅢでは、MMCで説明があった問題の出題パターンを頭に入れたうえで、それに対応するための解答の金型とキーワードを頭に入れて臨みました。特に事例Ⅱでは、ターゲット客を適切に選んだうえで4Pの面で解答することや外部資源の活用・連携を模索することを意識して練習を繰り返しました。事例Ⅲは、与件文にて問題や課題が明確に表現されているため、それを解決するためのキーワードを覚え、QCDや4M等の金型に当てはめて解答する練習を行いました。最後まで手こずったのは事例Ⅰです。これについても同様に、組織面、人事面のキーワードを金型に当てはめ、なおかつ与件文に忠実に答えることを意識して解答の練習を続けました。

私の根本的な認識違いについて

2次試験では、1次試験で問われる知識を活用して解答することが大部分です。1次試験はマークシート方式でしかも平均60点で合格できるため、私は正答と誤答を振り分けるための勉強をもっぱら行ってきました。この方法ですと効率よく1次試験を突破できますが、今から思えばこのやり方がしっぺ返しを食らったのだと思いました。

2次試験では、企業経営理論、運営管理、財務会計の1次試験テキストに出てくる内容が一通り頭に入っていて、試験に出そうな重要知識については短い文章ですぐに引き出せるように整理しておきませんと、試験会場で無い知恵を絞りながら長考することになり、時間が無くなってしまいます。また、重要知識が整理されて頭に入った状態で設問文や与件文を読むと、解答の選択肢がすぐ浮かぶばかりでなく、与件文の企業の問題点や課題がよく見えるようになります。

過去問を10年以上さかのぼって解答パターンをすべて暗記する力があつたり、営利企業に所属して普段から会社経営に携わっている方であつたりすれば、キーワードを金型に当てはめるだけでいい成績がとれるのかもしれませんが、私はエンジニア出身であるためか読解や記憶力に自信がなく、また非営利法人の所属が長いため、実際の経営について肌感覚で理解する機会に乏しいため、ほかの受験者より知識面（常識面）でハンディキャップがあることを十分認識していませんでした。私がMMCでお世話になっている際、これらの基礎知識の確認を一切すっ飛ばし、キーワードや金型を主に走ってしまったため、解答の方向が試験委員の考えからずれたものになってしまったものとは後悔をしています。

おわりに

試験は1年間に1度きりで、早朝から夕方までの長丁場の試験です。私は試験前日によく眠れず苦労をしました。また、受験者の中では高齢の部類に入るため、日ごろから頭をシャープにしておく必要もあり、サプリメントや運動を取り入れるなど、工夫を凝らしてきました。これから資格取得を目指される方々におかれましては、体調管理にも十分ご留意いただき、早期に合格を勝ち取っていただくことを期待しています。

以上